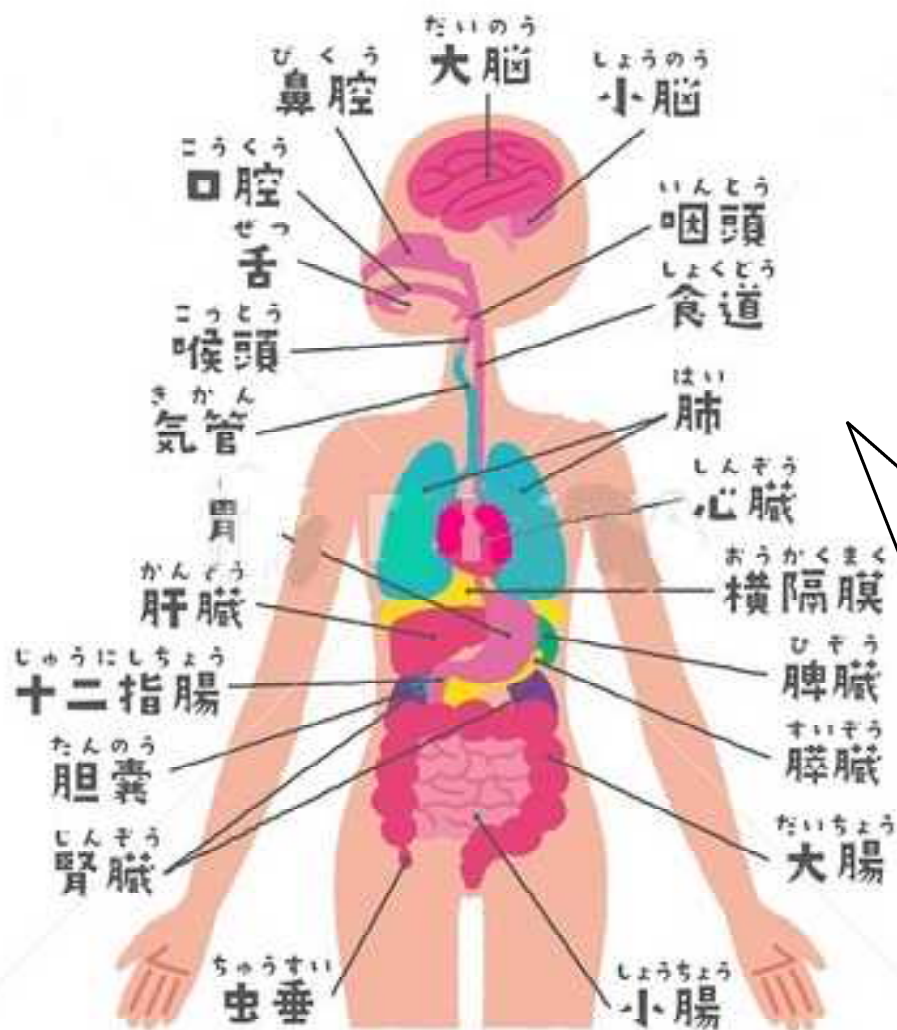




志村先生から 6年生のみなさんへ①7

今日はこれまでより気温が上がり、初夏を思わせるような日になりました。暑くなってくると、マスクをしているのがわずらわしくなってしまいますが、感染予防のためにちゃんとつけましょうね。

さて、先週、このページで理科の勉強をしましたね。「呼吸」に関するはたらきをする「肺（はい）」という部分についてのお話をしました。今日はそこから、国語に寄り道してみましよう。体の中には、肺の他にもいろいろな臓器（ぞうき）があります。



みんなはこの体のつくりの中で、名前をどれくらい聞いたことがあるかな？
6年生の勉強では習わないものの名前も入っているよ。

ひとつひとつの名前の字をよく見てみよう。何かに気が付きませんか…？

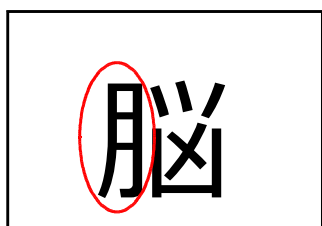
どう？ひらめいた？

私が気が付いてほしかったのは、体のつくりを表すほとんどの漢字に「月」という字がつくということです。

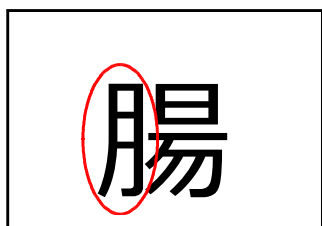
例えば…



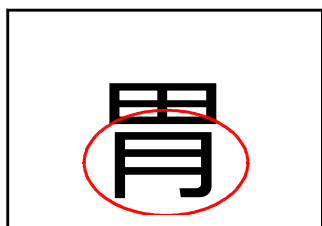
【はい】
「月」と「市」があわさってできていますね。



【のう】
これは、脳みその「脳（のう）」。
「月」とつくりの部分は脳をふくむ頭部に毛が生えた形を表しているのだそうです。



【ちょう】
大腸（だいちょう）とか小腸（しょうちょう）などを表します。「月」と「のびあがる」意味をもつつくりでできています。



【い】
これは、へんの部分ではなく、「田」の下に「月」がついています。

体のさまざまな部分を表す字に「月」がついていたでしょう？これは、空に出ている「月」を表しているのではなく、「にくづき」といって、体の一部や肉を表しています。でも、「月」がつくすべての字が「にくづき」というわけではなく、空の「月」を表している字もあるのでご注意ください！大事なのは、字の形だけではなく、意味や何を表しているかも考えることです！国語の教科書、36、37ページ『漢字の形と音・意味』に、今回の話と同じ勉強についてのっています。読んでおきましょう！

